

令和5年度（藤沢総合高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚をもち、信用失墜行動を防止する	「職員行動指針」、「倫理に関する指針」に基づき、県職員・教育公務員として求められる姿勢を確認した上で、職員一人ひとりが、生徒、保護者や県民の期待と信頼に応えることができるよう取り組んだ。定例の研修や記者発表資料を活用し自ら点検を行うなど信用失墜行動を防止することができた。
職場のハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)の行為防止	人権意識を高めハラスメントのない風通しのよい職場づくりをする。	人権研修や啓発資料等を活用した情報共有、セルフチェックを実施しながら、パワハラ・セクハラ・マタハラ等の発言や行為のない職場づくりを行った。生徒・保護者・県民に対しても教職員・管理職が中心となり丁寧に対応した。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	教育の専門家としての自覚・意識を高め、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を絶対にしない。	管理職による面談や日常的な声掛け等によりセクハラ・わいせつ行為を防止することができた。教職員が加害者に絶対にならないように、生徒とのSNS等の利用禁止の徹底、私物端末の利用に関するルールについて再度共有をした。
体罰、不適切な指導の防止	体罰・不適切指導は、あってはならない行為と共通認識し、未然に防止する。	今年度も人権感覚のさらなる醸成を進めるため、啓発資料、研修資料等を活用して取り組んだ。体罰事案などの具体例を確認し、職員の意識を高め、生徒により適切な指導ができるよう努めた。「校内人権窓口」を含め生徒がより相談しやすい環境の整備を様々な場面・方法を活用し生徒へ周知することができた。
入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づく作業手順や点検体制を再確認し、事故を未然に防止する。	成績処理、進路関係業務、入学者選抜業務において、小さなことでも昨年度からの気になる点を確認し、小さなことでもマニュアルや点検体制を改善した。それぞれの業務において、改善が必要な個所は、全体で共有し、適切に処理できた。これらの業務においても生徒の個人情報の適切な管理を徹底できた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の管理には細心の注意を払い、流出や紛失を未然に防止する。	個人情報の取扱い、適切な情報セキュリティについて、機会あるごとに啓発資料等を活用し、職員の意識を高めて個人情報の流出・紛失を防止することができた。個人情報を持ち出す際の「個人情報持ち出し許可願」による申請等、手続きの徹底を図った。引き続き個人情報の管理について徹底を図りたい。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員としての自覚をもち、法規規範遵守の徹底、交通事故、飲酒運転等の根絶を図る。	交通事故や飲酒運転等の防止に向けて、啓発資料等を活用した研修や事例の共有により職員の意識高揚を図り、規範意識を高めることができた。残念ながら交通事故ゼロとはならなかったが、次年度に向けても交通法規の遵守を基本に、交通事故防止、飲酒運転の根絶を図りたい。
業務執行体制の確保等	不適正な業務執行を未然に防止する。	職場において、気になることについて、互いに声をかけ合い、考え、協力しながら改善していく土壌が醸成されてきている。さらに職員の意識を高め「ほう・れん・そう」の徹底や「自分事」としての視点を重視していきたい。引き続きグループ間、年次間での情報を共有し、職員が協働した業務遂行の取組を進めたい。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

教育公務員として、自校・他所属で起きる様々な事故・不祥事を「自分事」として捉え、不適切な事案や不祥事に繋がるような事象を絶対に起こさない職場をめざし取り組んできました。職員全体にも時機を逃さず、意識啓発・注意喚起を行い、不祥事ゼロに向けた行動を促し、概ね目標を達成することができた。

令和5年度において、交通事故防止を徹底できなかった事は誠に残念であるが、不祥事防止の取組により、ほかには問題は生じなかったと考えている。

令和6年度に向けて今年度の目標達成状況を踏まえた上で、目標を改めて設定し、達成状況を踏まえた上で、目標を設定し職員一人ひとりがより高い意識をもち、不祥事ゼロを徹底し職員の事故・不祥事防止の取組みは適切に進めてきた。経験の浅い教職員が多い職場において、協働性や組織力の向上は今後も対応が必要な課題である。働き方改革もまだ十分な成果は得られておらず、引き続き取組みを進めていきたい。

※ 課題、目標別にリスクの発生状況や行動計画の実施結果等を踏まえ、ゼロプログラム全体の達成状況を評価してください。その上で、次年度に重点的に取り組むべき課題、不祥事の未然防止、早期発見及び再発防止のために検討している方策等について具体的に記入してください。